

第6回 長浜市総合計画審議会 議事録

I 日 時 平成28年7月8日（金曜日）15時30分～17時20分

II 場 所 長浜市役所西館5階 5B会議室（長浜市八幡東町632番地）

III 出席者 石井良一委員（会長）、平山奈央子委員、松島三兒委員、大久保慎雄委員、前田優子委員、中西恭子委員（副会長）、大谷晶子委員、板山きよ美委員、平川市孝委員、川崎四朗委員

〔事務局〕 総合政策部：松居部長、米田次長兼総合政策課長
総合政策課：野村課長代理、川村主幹

IV 欠席者 神谷昌史委員、塚田益司委員、福島孝夫委員、中嶋毅委員、押谷喜美子委員

V 内 容

1 開 会

事務局 事務局は、開会を宣言した。

2 議 事

（1）総合計画策定に向けたこれまでの主な取組について

事務局 事務局は、資料1に基づき説明を行った。
一質疑なし

（2）長浜市総合計画 基本計画（案）について

事務局 事務局は、資料2及び2-1に基づき説明を行った。

会 長 この会議で出される意見及び提案については、各担当課との調整が必要となることから事務局に任せることになるが、具体的な議論は今日の会議が最後となることから、言い忘れることのないようにしていただきたい。

まず、まちづくりの重点プロジェクトから見ていきたいと思う。

会 長 各重点プロジェクトについて、左ページのイラストに記載されている文言と右ページの内容との表現が合致していない。一般の人が見た時にわかりにくいため、再整理が必要である。例えば、2.1 郷土に学ぶ「長浜人づくり」プロジェクトであれば、「長浜学」の表現方法が違っていたり、入っていたり無かったりする。また、主な施策・取組は見出しであることから、体言止めとするのが通常かと思う。さらに、目次もごちゃごちゃすることから、施策名は「～充実を図ります」でな

- く、「～充実」といった体言止めとしてはどうか。
- 会 長 17 ページの「政策 6 環境・都市」の中で、3.2「便利で使いやすい交通体系～」とあるが、交通体系の維持に毎年数億円の税金が投入されている状況を見ると、果たして便利さだけで交通体系を整備してよいものかと思う。また、3.3「市街地や各地域の整備・開発～」とあるが、新たな開発の予定があるのか。「整備」だけで整理してはどうか。
- 委 員 16 ページの「政策 1 市民・自治」にある「1. あらゆる人が活躍するまちづくり」と「2. 一人ひとりが主役のまちづくり」について、両方の表題が示す意味の違いがわかりづらい。2 は住民が主役になることから「一人ひとり」では焦点がぼけてしまう。住民という意味では「暮らす人が主役のまちづくり」とした方がよいかもしれない。
- 委 員 16 ページの 1 行目に「計画期間内」とあるが、計画期間はどこに記載されているのか。基本計画は、いきなりプロジェクトから始まっているが、1 ページでもいいから目標や計画期間等の説明書きを記載してはどうか。
- 事 務 局 基本構想の冒頭に記載していることから、あえて基本計画には記していない。
- 会 長 基本構想と基本計画は合冊するのか、それとも分冊なのか。
- 事 務 局 合冊の予定である。
- 会 長 合冊にするならそれでよいと思う。
- 委 員 資料 2-1 の 1 ページの現状と課題に、オリンピック、国体という特定のイベント名と西暦が入っていることに違和感がある。あくまで両イベントは内外への発信の好機に過ぎず、「文化芸術・スポーツの振興」の面から見ると、強調しすぎではないか。
- 会 長 計画の細かな文言や中身については、事務局でこの場で答えきれないため、このような指摘があったことを各担当課に報告して検討願いたい。以下、政策順に意見をお願いしたい。
- <政策 1>
- 委 員 表記上の問題であるが、文章の出だしの位置がまちまちであり、統一すべきである。
- 会 長 22 ページの成果指標 1「固定的な性別役割分担意識～」とあるが、そのような調査を実施しているのか。表現もよくわからない。また、現状値と目標値の単位が違うのはなぜか。
- 22 ページの成果指標 2「～女性委員の占める割合」について、4 割という目標に決め事があるのか。
- 24 ページの成果指標 1「巡回指導員」とあるが、巡回指導員にも様々な種類があることから、何のことかよくわからない。外国人対応なのか、それとも発達障害児対応なのか。

25 ページの成果指標「国際交流等貢献者～」とは、具体的にどのような人を指しているのか。

<政策2>

- 委員長 33 ページの成果指標2「各園における講演会の実施」は、毎年度1回の目標であるが、そのような指標を設定すべきなのか。
- 会長 33 ページの成果指標3「講演会参加者の増員」とあるが、「増員」は指標としておかしいと思う。「参加者数」が適当だと思う。
- 37 ページの成果指標3「～英語検定3級受験者数の割合」は、24 ページ掲載のものと同内容であるが、表現は異なっている。
- 48 ページの今後の主な取組にある「長浜学」は事業なのか。
- 54 ページの成果指標4「観光入込客数」とあるが、スポーツ活動の推進に対応する指標としては違和感がある。
- 委員長 54 ページの成果指標2「教室参加者数」、成果指標3「県事業合格者数」とあるが、具体的に何のことかわからない。
- 会長 今後、アンケート調査を使うのであれば、調査項目として、例えば「日常的にスポーツをしている人の割合」などを設定するなど、アウトプットでなく、アウトカムの指標とする方がよい。
- 委員長 37 ページの今後の主な取組にある「保幼小中連携推進事業」は、中学校までの連携であるが、英語教育や理科教育などの分野において高等学校との連携の視点はないのか。

<政策3>

- 会長 65 ページの成果指標2、3にある〇〇とは、何を意味するのか。
- 70 ページの成果指標1「対前年比」とあるが、これは指標項目として不適当ではないか。
- 74 ページの成果指標として最もふさわしいのは、「要介護者の比率」だと思う。また、事業数が多い割に成果指標が少ないのではないか。
- 79 ページの成果指標は、「認知症者数等の割合」とできないか。
- 80 ページの成果指標は、相談件数・実施数でなく、「しょうがい者の市内事業所での雇用率」等の指標の方がよいのではないか。
- 85 ページの成果指標として、「生活保護世帯の比率」を併記できないか。
- 委員長 79 ページの成果指標1「キャラバンメイト」の説明書きがない。
- 会長 全般的に注釈を付ける必要がある。

<政策4>

- 会長 104 ページの現状と課題に「リーマンショックによる景気低迷」とあるが、既に過去のことであり、今は違う局面にある。
- 111 ページの成果指標「指定管理館の合計」とは何のことか。
- 116 ページの成果指標1「動員数」は、お役所言葉であり、「参加者

- 数」などに変えられないか。
- 委員 116 ページの成果指標 1 の目標値は 30 万人と横ばいであるが、経費は増加する一方で目標数値としては現状維持のままでよいのか。
- 会長 118・120 ページの各成果指標は、小数点以下と細かいため、千単位で丸めた方がよい。
- 委員 全体を通してであるが、例えば、102 ページでは獣害事業の捕獲頭数を成果指標とされているが、事業を実施したアウトカム、どう変わったのかを測れる指標が少ないと感じる。できる限り、アウトカムを測れる指標とすべきである。
- 会長 委員ご指摘のとおり、この分野ではよく農産物の被害額などを指標とされることが多い。たくさん捕獲しても被害が増えていれば意味がない。103 ページの成果指標 1 「出展企業数」や「求職者数」でなく、例えば「高校生の市内就職率」のような指標とできないか。

<政策 5>

- 会長 123 ページの成果指標 2 「地域安全長浜市民大会の開会数」は、当然にして実施すべきことであり、これを主な取組として掲載するのはどうかと思う。また、「市内犯罪率」「自主パトロール数」等の別の指標で設定できないか。
- 122 ページの成果指標 1 「補助件数」は何の補助なのかわからない。また目標値に毎年 5 件を並べるこの意味がわからない。

<政策 6>

- 会長 138 ページの成果指標 1 「可燃ごみ処分量」は、今後とも同一の目標数値でよいのか。減少させるという期待値を設定することも考えてみてはどうか。
- 149 ページの「住みよい住宅環境の推進」は、住宅に限らず、駅やまちのバリアフリーも包括する考え方ではないのか。
- 委員 137 ページの成果指標 1 「再生可能エネルギー導入量（資源エネルギー庁発表数値）」とは国が自治体に目標を課しているのか。
- 会長 国から自治体へは課していないのではないかと。本来は「再生可能エネルギーによる電力割合」等の指標が望ましいと思う。
- 委員 電力もあるし、バイオマス等で熱源とするものもある。
- 会長 再生可能エネルギー量として電力も熱もまとまって入っている。
- 委員 計画の中に、河川や湿地保全などの水環境に関する記述が極端に少ないと感じる。長浜市では実施されていないのか、記載の少ないことに違和感がある。
- 会長 具体的な記述ではないが、141 ページの「自然環境保全の推進」の中に多少記載されている。
- 委員 政策 6 のタイトルは、「環境・都市から水と緑に包まれ住まう」となっ

ている。

<計画の推進>

- 会 長 168 ページの「計画の進捗管理」については、市議会の提言でも強調されていたが、評価会議は第三者機関なのか、市議会なのか、それとも市民なのか、誰が担うのか不明確である。また、常設として毎年動かすのか、2 年おきとか 4 年おきに計画の進捗と連動して動かすのか、内容も不明確である。
- 委 員 評価としては、10 年間の期間中に毎年やること、中間で見直すこと、改定直前に検証すること等がある。この内容では、評価のタイミングがよくわからない。
- 委 員 評価の方法、評価結果の公表、どのような方策で改善を見込んでいくのかなど、もう少し詳しく書いた方がよいのではないかな。
- 委 員 時代の変化に伴い、将来に向かって無くなっていく職種もある中で、再就職に向けた教育機会の充実に取り組むことはできないかな。
- 会 長 社会人の学び直しや、転職にかかる再教育も大事なことである。
- 委 員 定年退職者らが集まれる機会を設ければ、そこから新たな取組が生まれることもある。
- 委 員 成果指標を見直すのであれば、できる限り行動指標よりも成果指標にすべきである。仮に行動指標であってもそれが達成できればアウトカムに結び付くものはいいが、そうでないものは事業成果の評価も十分にできない。
- 委 員 各担当課で成果指標を考えるのには限界があると思う。事務局として政策毎の成果指標を提案してみてもどうか。多くの自治体でも政策指標を設定されていることから、それらを参考にするのもいいと思う。

<その他>

- 委 員 重点テーマ「かがやく」「みなぎる」「つながる」と各重点プロジェクトとの関連付けについて、無理やり繋げられた感じをやや受ける。
- 委 員 2 ページの重点プロジェクト図だが、重点テーマ同士の重なり、重点テーマと重点プロジェクトとの重なりをどのように解せばよいか。
- 委 員 重点プロジェクトについては、3 つの重点テーマの要素すべて関わっているという認識をしている。
- 事 務 局 第 5 回審議会において、1 つの重点テーマに重点プロジェクトがぶらさがるのはではなく、軽重はあるものの、各重点プロジェクトは全ての重点テーマとつながるのはとの指摘を受け、このような包括的なイメージ図へと変更させていただいた。
- 委 員 2 ページの図において、プロジェクトごとに着色が違いますが意味はあるのか。
- 会 長 冊子はカラーで印刷するのか。

事務局 冊子はカラー印刷であり、イラストや写真も挿入する予定である。

委員長 イラストが入るとのことだが、イラストにはメリットと同時にデメリットもあると思う。どんなイラストを使うかによって狙いと違う別の印象を与えてしまう可能性がある。できればイラストも確認できるとよかったと思う。間違っても、男女共同参画に旧態依然としたお父さんが真ん中にいるようなイラストは使わないように。

委員長 36 ページの「確かな学力の向上」の中に、日本の歴史を学ぶことを入れられないか。最近はグローバル化への反動のような動きも出ているようだが、私が 40 年前にアメリカへ行った時、自分のアイデンティティを十分に語ることができなかった経験がある。世界における日本の位置づけの理解、日本人としての誇り、世界情勢に対する考えを持たずにアメリカへ行ったため、それでは真のコミュニケーションはできないと痛感した。思想に関わらず、きちんと歴史を理解しておけば後々の英語教育にもつながると思う。また、英語教育は英語検定でしか測ることができないのか。

委員長 「長浜学」は学校教育の中に取り入れれないのか。また、そういった議論はされていないのか

事務局 郷土学習として学校教育で取り組んでいる。「長浜学」は生涯学習分野での記載となっている。

委員長 166 ページの「行財政運営・行革の推進」について、市議会からも「選択と集中」が提言されており、効率的な視点が必要だと思う。この記述では、どのように財政の健全化と施策の推進の両立を図っていくのかわからない。市行政だけでできる範囲は限られていることから、県や他市町との連携を深めつつ、「選択と集中」を図ることを記載してはどうか。

委員長 目次をみると、施策の表題が「～進めます」となっているが、行政のみで推進するものと捉えられないか心配である。市民や市民活動団体、事業者等との協力のもとで進めるという大前提のもと、「進めます」を外してはどうか。また、文章全体も見直して「行政がやる」という書きぶりになっていないか、今一度チェックした方がよい。

3 その他

(1) 次回審議会の開催について

事務局 本日の意見を踏まえて各課調整の後、7 月 15 日～8 月 1 日の間でパブリックコメントを実施し、さらにパブコメで出された市民意見を踏まえた最終案でもって、次回審議会において市長に答申いただきたいと考えている。

会長 次回審議会では、パブコメを踏まえた計画内容の確定をすべきだが、

最終の答申案はいつ委員へ示されるのか。

事務局 8月4日に送付予定で、ご意見は8月6日中にいただきたい。なお、パブコメ開始前にパブコメ用資料はお届けする。

会長 パブコメ期間内にどうしても気になるところがあれば、委員から意見を述べることも可能なのか。

事務局 もちろん可能である。

委員 タイトなスケジュールであり、十分な審議時間を確保できないことから、次回の審議会は答申ではなく意見交換の機会とし、答申は会長と副会長に一任することはできないのか。

会長 答申だけであれば次回審議会はセレモニーとなることから、その方向で調整できるのであれば意義がある。

委員 今の提案に同意します。

会長 去年の6月からきめ細かく積み上げてきた集大成となることから、最後まで全うして終わりたい。各担当課との調整も必要となるが、ある程度事務局の意思も示した方がよいので、現場に振り回されず、政策的な総合計画にしていきたい。

委員 人口減少社会にあっても結婚する人の数を増加させるなど、目標指標はすべて右肩上がりになっているが、その信ぴょう性はあるのか。

委員 本文中に誤字がみられるため、今一度見直しされたい。

17時20分終了